

北海道農業の地域別特色

○ 北海道は土地面積が大きく、気象や立地条件などが地域によって異なることから、それぞれの地域において特色ある農業が展開

道央地帯

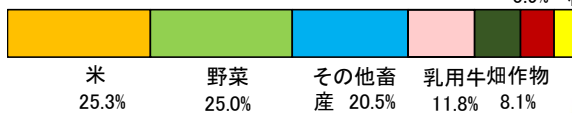
[空知・石狩・胆振・日高・上川・留萌]



この地帯では、稲作を中心に、野菜や軽種馬、肉用牛など地域の特色を生かした農業が行われています。

農業産出額 4,049億円(H27)

肉用牛その他耕
5.9% 種 3.4%



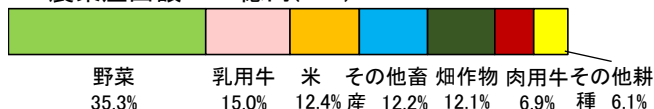
道南地帯

[後志・渡島・檜山]



この地帯では、稲作や施設園芸、畑作、果樹などの集約的な農業が行われています。

農業産出額 913億円(H27)



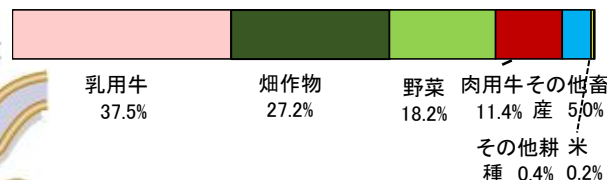
道東(畑作)地帯

[オホーツク・十勝]



この地帯では、麦類、豆類、てん菜、馬鈴しょを中心とした大規模で機械化された畑作や酪農畜産が行われています。

農業産出額 4,724億円(H27)



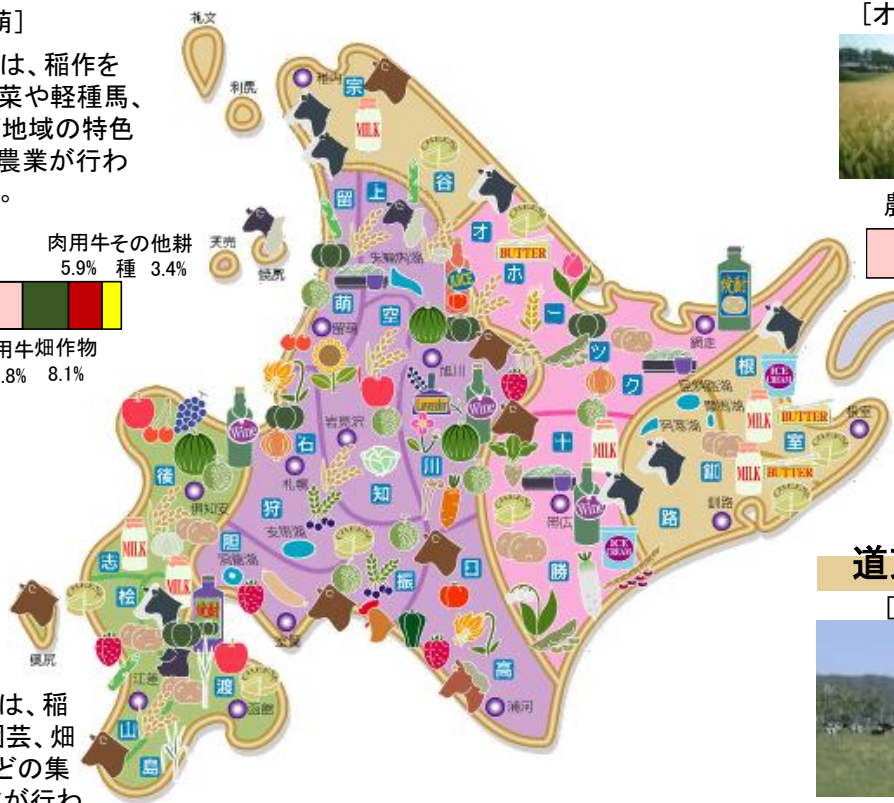
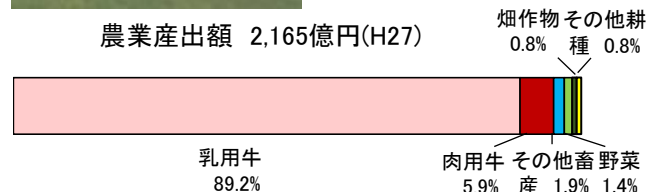
道東(酪農)・道北地帯

[宗谷・釧路・根室]



この地帯では、冷涼な気候を活かした EU諸国に匹敵する大規模な草地型酪農が展開されています。

農業産出額 2,165億円(H27)



資料:農林水産省「市町村別農業産出額」からの推計 ※ 地図の地帯区分はH22.4現在